

公益社団法人 全国愛農会

【2017年1月1日～2017年12月31日 事業報告書】

◆ 営農・就農事業(公益目的事業1)

【1-1 愛農担い手講座】

日程・2017年2月4日～5日

会場・愛農学園

参加者・48名

講師・畑俊八(株式会社 土佐百)、久松達央(久松農園)

講師二人を招き、有機農業をなりわいとして暮らしていくこと、販売や経営戦略などについて、講師による講義や参加者との対話により1泊2日を通じて学んだ。

【1-2 あいのうこども自然学校】

日程・2017年7月15～17日

会場・愛農学園

参加者・20名

小学校4年生から6年生の児童が参加。「生きているを知る」をテーマに、2泊3日を通じた体験型プログラムを実施。

○ 主なプログラム内容

- ・食べ物のお話し
- ・愛農高校キャンパスツアー&クイズ
- ・星のお話し、天体観測
- ・農作業体験
- ・飾り炭作り
- ・流しそうめんと竹細工
- ・鶏と土のお話し、鶏の解体見学
- ・田んぼの生き物観察
- ・キャンプファイヤー
- ・パン作り、ピザづくり

【1-3 台湾インターンシップ実習生受け入れ】

日程・2017年8月8日～9月8日

会場・愛農学園ほか

参加者・5名

台湾国立ピントン科学技術大学(NPUST)で農業経営や畜産を学ぶ大学生と大学院生5名を受け入れ、持続可能な農業を軸に学んでもらうインターンシッププログラムを実施。

○ 主なプログラム内容

<視察>

- ・ハラペコ里の市(三重県名張市)

<講義>

- ・有機農業概論
- ・日本の有機農業の歴史
- ・有機JAS認証制度
- ・愛農高校農場の紹介
- ・愛農高校の教育

<研修旅行>

<舞鶴・丹波地方>

- ・西方寺地区(京都府舞鶴市)
- ・婦木農場(京都府丹波市)

<愛知・岐阜地方>

- ・東別院手作り朝市(愛知県名古屋)
- ・愛農流通センター(同上)
- ・りんねしゃ(愛知県津島市)
- ・山のハム工房グローバル(岐阜県恵那市)

<実習>

- ・なな色の空農場(三重県津市)
- ・この指とまれ農場(三重県伊賀市)
- ・ぐるり農園(同上)
- ・愛農高校農場(同上)

【1-4 韓日平和交流会】

日程・2017年11月7日～9日

会場・藤沢市八ヶ岳体験教室ほか

参加者・52名

韓国の農業団体正農会との交流会。19回目となる今回は長野県の野辺山高原(南佐久郡南牧村)にて開催。

- 主なプログラム内容(特に記載がない場合、場所は長野県南佐久郡南牧村)
 - ・キープ協会視察(山梨県北杜市)
 - ・佐々木農場見学
 - ・滝沢牧場見学
 - ・韓日村づくり実践報告会

【1-5 月間「愛農」の発行】

<主な内容>

- 特集
 - ・日本は電磁波汚染大国
 - ・お手本になり、種を蒔く
 - ・主要農作物種子法廃止が決定
 - ・何がおかしい？どこが危ない？共謀罪
 - ・アフリカモザンビーク プロサバナプロジェクト
 - ・韓国発祥「あんフラワーケーキ」でふるさとの田んぼを守りたい
 - ・いのちは誰のもの？種子法廃止と私たち農家
 - ・私の戦争体験 地獄のような沖縄戦を生き抜いて
 - ・京都舞鶴・添田潤さんに聞く 天敵を使った害虫防除
 - ・会員農家に聞く 台風18号による京都府伊根町の被害状況
 - ・竹職人まっぼんさんが創り出す「竹ピース」
- 訪問取材記事
 - ・海が見えるカフェで石窯ピザ インセンス
 - ・作って食べるのが農家の基本～渡辺農場の野菜づくり～
 - ・「共に生きるために」アジア学院が生み出し続けているもの
 - ・お米で養鶏！この指とまれ農場の地域循環養鶏プロジェクト
 - ・山奥の村で自給暮らし
 - ・ソラノネで綿を摘んで考えた「豊かな暮らし」
- 報告
 - ・愛農農産加工集中コース開催報告
 - ・就農者はまずは生きろ！愛農担い手講座レポート
 - ・韓国発「幸せの経済国際会議」レポート
 - ・第62回通常総会報告
 - ・愛知・津島・農縁塾「みんパタ」プロジェクト
 - ・あいのうこども自然学校
 - ・愛農的！台湾大学生インターンシッププログラム
 - ・原点に立ち返る～小谷純一記念会～
 - ・国際リーダーシップワークショップ参加報告
 - ・北御門二郎さんのお孫さんの小宮由さんを「このあの文庫」に訪ねて
- 講演録

- ・エップレイモンドさん、荒谷明子さんトークライブ
 - ・愛農担い手講座・畑俊八さん&久松達央さん対談録
 - ・あいのうこども自然学校より
 - ・「土と食べ物」について学びあう集いより
- 連載・シリーズ
- ・24 節気～日本古来の暦を味わう～
 - ・野菜と旅する
 - ・巻頭言
 - ・愛農会員を訪ねて：石井康弘、池野雅道
 - ・愛農大きなカタログ：創作 bistro むじか食堂、(株)りんねしゃ、山のめぐみ舎、(株)大阪愛農食品センター
 - ・愛農生はいま・・・：新宿夜の会編、杉山哲郎さん、大西一馬さん、愛農が丘・同窓会館編、三澤清隆さん
 - ・愛農人の愛用品：みつばちラップ Bee Happy、コートブラシで水田除草、動力なしで水を汲み上げる 水槌ポンプ
 - ・女の気持ち：服部充気、武藤佳穂理
 - ・平和への祈り：野村裕子
 - ・憲法を語り合う広場：品田茂、名嘉真正、奥田あさ子、池野雅道
 - ・有機 J A S 認定事業者紹介：関本貴則、鯨岡恵
 - ・愛農高校の窓
 - ・愛高ウォッチング
 - ・生命いきいき料理教室
 - ・草の庭お昼のご飯帖
 - ・あいのう俳壇
- その他
- ・図書紹介
 - ・読者からのお便り
 - ・愛農ファミリーのページ
 - ・増刊ファミリーのページ
 - ・編集部便り

【1-6 AFA (アジア農民の会)】

- 主な活動内容
- ・理事会への出席
 - 12/4 に村上会長、飯尾専務理事が出席
 - ・Management Committee(会長・副会長、前会長など一部理事による経営会議)
 - 2/4、9/11 それぞれに村上会長が出席
 - ・ファシリテーションスキル講座への出席(8月にドイツにて開催)
 - 飯尾専務理事が参加

◆ 農産物及び加工食品等の認証に関する事業(公益目的事業2)

○ 新規認定件数：7件

<有機農産物についての生産行程管理者>

- ・一般社団法人二本松有機農業研究会(組織改編・福島県)
- ・有限会社類農園(新規・奈良県)
- ・上久保淳一(新規・奈良県)
- ・株式会社ありがとうファーム(新規・岐阜県)
- ・株式会社ラビアンローズ(新規・岐阜県)

<有機加工食品についての生産行程管理者>

- ・宮ザキ園(新規・愛知県)

<有機加工食品についての小分け業者>

- ・株式会社マナ(新規・京都府)

○ 廃止した認定事業者：3件(2017年1月1日～2017年12月31日)

<有機農産物についての生産行程管理者>

- ・JAみちのく安達 二本松有機農業研究会(組織改編)
- ・コヘレト農園(自己都合)

<有機加工食品についての生産行程管理者>

- ・有限会社ブルーベリーフィールズ紀伊國屋(自己都合)

○ 格付実績(2016年4月1日～2017年3月31日)

<有機農産物> 生産行程管理者：757,922kg(前年度：817,199kg)

小分け業者：260,646kg(前年度：266,148kg)

<有機加工食品> 生産行程管理者：252,269kg(前年度：118,467kg)

○ 有機認定講習会 全30名

- ・第80回 2月22日～23日 於：愛農 10名受講
- ・第81回 5月12日～13日 於：愛農 7名受講
- ・第82回 8月25日～26日 於：愛農 13名受講

○ 見直し会議 1月19日、2月17日、7月4日、12月7日実施

参加者：山本和宏、石井康弘、岡野正義

○ 内部監査 10月24日・25日実施

内部監査員：田中祥吾

○ 年次確認調査 全認定事業者の年次の調査を適宜実施

- ・検査員：岡野正義、山本和宏、堀明彦
- ・小山高人を有機加工食品の検査員リストに追加
- ・堀明彦を検査員リストから削除

○ 判定会：原則毎週1回実施

- ・ 小山高人を判定員リストに追加
- ・ 堀池舞子を判定委員リストに追加
- 認定業務者研修 8月17日実施（滋賀県高島市）
参加者：石井康弘、山本和宏、岡野正義、羽間瞳、小山高人
＜業務研修＞
 - ・ 法令改正について他
- ＜現地研修＞
 - ・ 「ソラノネ食堂」（ブルーベリーフィールズ紀伊國屋）

＜外部＞

- （独）農林水産消費安全技術センターによる事業所調査
1月18日～19日 不適合事項：1件
- 有機JAS登録認定機関協議会による公平性委員会
7月26日 神戸市教育会館 [神戸市]（岡野出席）
- 2017年度 有機食品等登録認定機関連絡会議
7月27日～28日 FAMIC神戸センター [神戸市]（岡野出席）
- 有機JAS登録認定機関協議会 年次総会
7月27日 神戸市教育会館 [神戸市]（岡野出席）
- 日本オーガニック検査員協会セミナー
7月31日 兵庫県民会館[神戸市]（岡野出席）
- 有機JAS認定制度入門研修（三重県共催）約50名参加
11月21日 三重県農業大学校[松阪市]

◆ 図書販売と施設設備の運営等(収益事業)

本会の事業推進に資するための農業関連図書の販売と本会編集発行の叢書販売、施設設備の運用等を行っている。

- 物品販売
これまでの書籍の販売に加え、2017年は新たに「日本一小さな農業高校の学校づくりー愛農高校、校舎たてかえ顛末記」(岩波ジュニア新書)の販売をおこなった。
- 施設設備運用
昨年に引き続き実施。